

## 製品安全データシート

作成日：2017 年 2 月 10 日

## 製造者情報

会社：横河マニュファクチャリング株式会社

所在地：〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

担当部門：人財総務部 総務課

電話番号：0422-52-5880 FAX 番号：0422-52-8096

緊急連絡先：0422-52-5880 FAX 番号：0422-52-8096

整理番号 K9657TV

製品名（化学名，商品名等）ニッソードライ MS

## 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分：混合物

化学名：塩化マグネシウムを含む乾燥剤

成分名	塩化マグネシウム	水溶性高分子	天然鉱物	水酸化マグネシウム	塩化ナトリウム
含有量 (%)	>65	<30	<10	<3	<5
化学式等	MgCl <sub>2</sub>			Mg(OH) <sub>2</sub>	NaCl
官報公示整理番号					
化審法	1-233	記載しない	記載しない	1-386	1-236
安衛法	公表物質扱い	記載しない	記載しない	公表物質扱い	公表物質扱い
CAS No.	7786-30-3	記載しない	記載しない	1309-42-8	7647-14-15

## 危険有害性の要約（GHS 分類）

特になし

## その他

次ページ、「製品安全データシート ニッソードライ MS」参照

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ニッソードライ MS  
会社名 : ニッソーファイン株式会社  
住所 : 東京都中央区日本橋本町 3-3-6 ワカ末ビル 2 階  
担当部門 : 営業開発部  
電話番号 : 03-6202-0162 FAX番号 : 03-6202-0185  
緊急連絡先 : ニッソーファイン株式会社 営業開発部 電話番号 : 03-6202-0162  
整理番号 : MS - 2

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性/酸化性ガス類	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入; 気体)	分類対象外
	急性毒性 (吸入; 蒸気)	分類対象外
	急性毒性 (吸入; 粉塵)	分類できない
	急性毒性 (吸入; ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外

環境に対する有害性	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル	: 無し
注意喚起語	: 無し
危険有害性情報	: 無し

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : 塩化マグネシウムを含む乾燥剤

成分名	塩化マグネシウム	水溶性高分子	天然鉱物	水酸化マグネシウム	塩化ナトリウム
含有量 (%)	>65	<30	<10	<3	<5
化学式等	MgCl <sub>2</sub>			Mg(OH) <sub>2</sub>	NaCl
官報公示整理番号					
化審法	1-233	記載しない	記載しない	1-386	1-236
安衛法	公表物質扱い	記載しない	記載しない	公表物質扱い	公表物質扱い
CAS No.	7786-30-3	記載しない	記載しない	1309-42-8	7647-14-15

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪い場合、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 付着した衣類を脱ぎ、多量の水で洗う。
目に入った場合	: 水で数分間注意深く洗う。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。 眼刺激が続く場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水で口の中をよく洗う。 気分が悪い場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡、二酸化炭素、砂、ウォータースプレー
使用してはならない消火剤	: 特になし
特有の消火方法	: 消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 保護眼鏡、保護手袋、自給式呼吸器

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 取扱い時は保護具を使用する。保護具は8項を参照する。 眼、皮膚、服への接触を避ける。
環境に対する注意事項	: 特に水生生物への強い毒性はないが、環境への多量の放出は避ける。

除去方法 : 破袋していないものは、拾い集めて空容器に回収、密閉する。  
破袋して内容物が漏出しているものは、8 項の保護具の着用を行い、できるだけ粉立ちしないようにかき集めて、空容器に回収、密閉する。  
回収中は、漏出物を出来るだけ水で濡らさないようにする。  
回収したあとは多量の水で洗い流す。  
国/都道府県/市町村の規則に従い、廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 取扱い時は保護具を使用する。保護具は 8 項を参照する。  
眼、皮膚、服への接触を避ける。換気の良い場所で取り扱う。

技術的対策 : 破袋しないように、乾燥した場所で取り扱う。  
本製品の内容物が金属と接触すると錆を生じるので、  
金属製品・容器に本製品が直接触れるのを避ける。

衛生対策 : 取扱い後は、手や顔等の露出部を水でよく洗う。

保管 : 水分の吸収特性があるため、開封使用後は、元の袋を密封し  
乾燥した場所で保管する。強酸と同じ場所で保管しない。  
直射日光にあてないように乾燥した風通しの良い冷暗所で保管する。

安全な容器包装材料 : 個包装品は、PE フィルム袋に入れ、ダンボール箱に入れる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 (ばく露限界値、生物的ばく露指標)

日本産業衛生学会 (2014 年版) : 吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup>、総粉塵 8mg/m<sup>3</sup> (第 3 種粉塵)

ACGIH (2011 年版) : 記載されていない。

OSHA PEL (2014 年版) : 吸入性粉塵 5mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 15mg/m<sup>3</sup>  
(不活性または有害性粉塵)

設備対策 : 粉じんが発生するときは局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸用保護具 : 防塵マスク

手の保護具 : 保護手袋

眼の保護具 : 保護眼鏡 (ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具 : 作業着、保護手袋を着用すること。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 (内容物のデータ)

形状 : 粉末

色 : 灰白色

臭い : 無臭

pH : 該当しない

比重 : 0.65~0.75

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 : 該当しない

引火点 : なし

爆発性 : なし

溶解度 : 水に対する溶解性 塩化マグネシウム : 560g/L (at 25°C)  
水溶性高分子 : 可溶  
天然鉱物 : 不溶  
水酸化マグネシウム : 微溶  
塩化ナトリウム : 36g/100ml (at 25°C)

## 1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用条件では安定。強酸や強アルカリと反応する。
避けるべき条件	: 水、湿気、強酸、強アルカリ、酸化剤との混合、接触を避ける。
反応性	: 水により水和物を生成する。その際、発熱する。
危険有害な分解生成物	: なし

## 1 1. 有害性情報

(塩化マグネシウムのデータ) \*4)

急性毒性

経口: (rat) LD<sub>50</sub> 2800 mg/ kg より区分外

経皮: (rat) LD<sub>50</sub> 3870 mg/ kg より区分外

(塩化マグネシウムのデータ) \*1)

吸入(粉じん) : データがないので分類できない。

皮膚腐食性及び刺激性 : データがないので分類できない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

: データがないため分類できない。

皮膚感作性 : OECD TG406(guinea pig)において皮膚感作性はみられない。

生殖細胞変異原性 : OECD TG471 で変異原性はみられない。

発がん性 : SIDS に発がん性である可能性は低いとの記述がある。

生殖毒性 : SIDS に NOAEL 1000mg/kg・bw/day とあるため区分外。

特定標的臓器・全身毒性

(単回ばく露) : データ不足のため分類できない。

特定標的臓器・全身毒性

(反復ばく露) : データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性 : データがないため分類できない。

(天然鉱物のデータ) \*2)

発がん性 : IARC MONOGRAPHS68 に group3 との記載がある。

(水酸化マグネシウムのデータ) \*3)

発がん性 : rat を用いた試験で carcinogenic 効果を抑えるとの記述がある。

## 1 2. 環境影響情報

環境有害性: (塩化マグネシウム) \*1)

魚(Pimephales promelas) : LC<sub>50</sub>=2120 mg/L(96 hr)

甲殻類(Daphnia magna) : LC<sub>50</sub>=1330 mg/L(48hr)

藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) : EC<sub>50</sub>>82.7mg/L(72hr)

## 1 3. 廃棄上の注意

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄する。

8 項の保護具を着用する。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国際規制

- 海上規制情報 : 該当しない。  
航空規制情報 : 該当しない。  
海洋汚染物資 : 該当しない。  
UN No. : 該当しない。

##### 国内規制

- 陸上規制情報 : 該当しない。  
海上規制情報 : 該当しない。  
航空規制情報 : 該当しない。

##### 輸送上の安全対策及び条件 :

- 1) 荷役中の取扱いは慎重丁寧にし、転倒、落下、引きずり等により容器に衝撃を与えたり、破損させたりしてはならない。
  - 2) 運送中は直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆等をするとともに器が転落、転倒しないように積載する。
- 

#### 1 5. 適用法令

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1) 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない。 |
| 2) 労働安全衛生法       | 該当しない。 |
| 3) 毒物および劇物取締法    | 該当しない。 |
| 4) 消防法           | 該当しない。 |
- 

#### 1 6. その他の情報

- 参考文献 : 1) OECD SIDS (April, 2011 SIAM32)  
2) IARC MONOGRAPHS 68  
3) HSDB  
4) IUCLID (February, 2000)

この SDS は、JIS Z7253-2012 に準拠しています。

---

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。  
又、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。